

なごアグリパーク

【加工支援施設 インキュベート A 室】使用者募集要項



なごアグリパーク指定管理者
JTB 沖縄・みらいおきなわ共同事業体
代表企業: 沖縄 JTB 株式会社

目次

1 なごアグリパークの概要.....	1
2 インキュベートA室の概要(参考資料「インキュベートA室概要」参照)	1
3 インキュベートA室の使用条件	2
4 インキュベートA室の見学	3
5 申込み資格	3
6 申込方法等	4
7 審査方法等	5
8 日程等	5
9 使用開始までの流れ.....	6
10 その他	7
(1)参考資料「なごアグリパーク配置図」	7
(2)参考資料「インキュベートA室概要」.....	8

1 なごアグリパークの概要

なごアグリパークは、名護市の農産物等の加工による高付加価値化を目指す加工支援施設、販売施設、観光農園、地域農産物等が食べられるレストラン等の機能を併せ持つ、6次産業化推進の拠点施設として名護市により整備されました(平成 29 年度完成)。本施設は、6次産業と観光とを融合し、地域の農産物を生かした多様な経済波及効果の向上を図る施設として期待されており、令和6年より JTB 沖縄・みらいおきなわ共同事業体(代表企業:沖縄 JTB 株式会社*1)が新指定管理者として、施設をリニューアルオープンいたしました(令和 6 年 5 月 5 日リニューアルオープン)。

※1. 令和 6 年 4 月より、社名が JTB 沖縄→沖縄 JTB に変更となりました

(1)所在地

名護市字名護 4607 番地 1

(2)主な施設(参考資料「なごアグリパーク配置図」参照) ※令和 6 年 12 月現在

- 1) 加工施設(①加工研究室 ②インキュベートA ③インキュベートB)
- 2) 駐車場:260 台収容
- 3) ショップ(物販店舗)
- 4) レストラン(飲食店舗)
- 5) 観光農園カフェ(飲食店舗)

※3)～5)は沖縄 JTB 株式会社が直営店舗として運営

(3)施設営業日・営業時間等

- 1) 施設営業日・定休日
年中無休(年末年始(12/31～1/3)を除く)
- 2) 施設営業時間および店舗営業可能時間
9:00～17:00

※営業日・時間は店舗毎で設定。ただし、営業時間の延長設定等は指定管理者への事前調整必要

2 インキュベートA室の概要(参考資料「インキュベートA室概要」参照)

(1)面積:221.0 m²

- ①事務室(7.0 m²) ②更衣室(5.0 m²) ③衛生室(3.5 m²) ④荷受・1 次加工室(29.00 m²)
⑤加工・調合・加熱室(18.0 m²) ⑥充填・キャップ室(14.5 m²) ⑦包装・出荷室(7.0 m²)
⑧製菓加工・加熱室(30.0 m²) ⑨製菓包装室(8.0 m²) ⑩製菓・倉庫・出荷室(12.0 m²)
⑪焙煎室(5.0 m²) ⑫厨房(20.0 m²) ⑬飲食室(51.0 m²) ⑭機械室(11.0 m²)

(2)設置機器等(計 88 点)

- ①厨房器具類(遠心脱水機、ホイロ、煮練ミキサー等) ②椅子類(店内用椅子等) ③机・台類(店内用テーブル) ④棚・箱類(物販什器、ロッカー等) ⑤事務用具類(電話器) ⑥印刷・複写機類(ラベル発行機) ⑦雑器具類(軟水器、電解次亜水生成装置等)

※設置されている機器・備品等については、耐用年数を越えているため、使用したい機器・備品等の無償貸出をすることが出来ますが、原則修繕・更新は行いません。ご了承下さい

3 インキュベートA室の使用条件

(1) 入居期間

入居開始予定日：令和 7 年 3 月以降

「名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例施行規則」第2条第5項に基づき、入居開始から3年以内としますが、1年単位で計2回まで更新可能です。ただし、事前調整・申請手続きが必要。

(2) 月額使用料（基本 200,000 円）税別、毎月 5 日までに支払い

区 分	月 額	備 考
1 年目	50,000 円	名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例第 5 条 2 項により 75%減額
2 年目	100,000 円	名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例第 5 条 2 項により 50%減額
3 年目	150,000 円	名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例第 5 条 2 項により 25%減額
4 年目 5 年目	200,000 円	※入居期間は原則 5 年を超えることはできないものとする。

※ 詳細については、「名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例」及び「名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例施行規則」をご確認下さい。名護市役所ホームページに掲載されています。

(3) その他の必要経費

1) 電気料金(指定管理者にて一括契約)

施設全体の電気料より太陽光発電により得られた売電料を除き、各施設の使用電力の比率にて算定した額(電気料は指定管理者にて一括支払い、各店舗には算定額で請求書を発行)

2) インキュベートA室において使用する上下水道料金（個別契約が必要）

3) インキュベートA室において使用するガス料金(個別契約が必要)

4) インキュベートA室において使用する電話料金・インターネット料金(個別契約が必要)

5) インキュベートA室において使用する厨房器具類稼働に係る燃料、消耗品等の購入費用

ボイラー燃料、電解次亜水生成装置稼働に要する消耗品等の購入費用、無償貸出機器等の修繕費

(4) インキュベートA室稼働にかかる手続き等

営業許可等の諸手続は使用者により行い、手続きに要する費用も使用者が負担するものとする。

(5) インキュベートA室厨房器具等の設置

厨房機器等の機能向上のために要するオプション機材及びその他加工に要する厨房器具等は使用者により購入または設置するものとする。なお、この場合、使用者はその内容を指定管理者と事前に協議を行い、その内容を書面により通知するものとする。

(6) インキュベートA室の改造等

改造を行う場合、使用者は事前に指定管理者と協議を行いその内容を書面により通知するものとする。また、使用者は退去に際しては、使用者の責により原状回復を行うものとする。

(7) インキュベートA室の稼働可能日

飲食室営業を含め原則として毎日稼働可能、ただし「飲食室営業、インキュベートA室稼働」については、指定管理者と事前に調整の上、行うこと。

(8) インキュベートA室の稼働可能時間

「1 なごアグリパークの概要 (3) 施設営業日・営業時間等」のとおり。

(9) 退去にかかる手続き等

条例、施行規則に従って手続きを行うこと。退去予定日までに私有財産を全て撤去し、使用場所を原状回復すること。施設を破損し汚損または滅失したときはこれを原状に回復し、又はその損害を賠償すること。指定管理者並びに関係者の現場確認等に協力すること。

(10) 管理運営への協力

健全な管理の為、使用料納付期限、防犯・防災への取組、防火管理者の選任・消防訓練の実施等について厳守すること。また、事業効果の把握・検証に必要となる決算報告書、収支実績等について、求められた場合には遅滞なく報告すること。

(11) その他

使用に際し、関係法令及び「名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例」並びに「名護市農産物6次産業化支援拠点施設の設置及び管理に関する条例施行規則」を遵守すること。

4 インキュベートA室の見学

インキュベートA室の施設見学については、指定管理者にて対応します。事前連絡の上、ご依頼ください。

(1) 期間: 令和 7 年 1 月 24 日 (金)～令和 7 年 2 月 14 日 (金)

(2) 窓口: なごアグリパーク施設管理事務所 (沖縄 JTB 株式会社)

〒905-0012 名護市宇名護 4607 番地 1 ☎ 0980-54-8550

5 申込み資格

使用応募者は、下記の要件をすべて満たすものであること。

(1) すでに6次産業化事業に取り組んでいる、現在、6次産業化事業に取り組む準備をしている、これから6次産業化事業に取り組む予定である、いずれかのもの。

(2) 事業の中心拠点を名護市内に有する個人、もしくは団体であるもの、または名護市内に支社を有する法人であること。

(3) 名護市内に農地(利用権も可)を所有、または賃借を行い、耕作していること。

(4) 2つの加工ライン(①ジャム等製造 ②菓子製造)の加工ラインを活用できる計画を有するもの。

(5) 加工原料のうち、名護市産の農産物を使用していること。

(6) 名護市農産物6次産業化支援拠点施設使用許可申請書(インキュベート室用)の添付書類の提出及び誓約事項の遵守ができるもの。

(7) 当施設の指定管理者、各店舗、生産者、地域事業者などと連携した取り組みができること。

(8) 地域住民・観光客に向けて、飲食室を物販や飲食店舗として、恒常的な運営ができること。

(9) 事業の内容が各種法令等に抵触していないこと。

- (10) 事業効果の把握・検証に必要となる決算報告書、収支実績等について、求められた場合には遅滞なく報告できるもの。
- (11) 租税を完納していること。
- (12) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条に掲げる暴力団及びそれらの利益となる活動を行うものでないこと。

6 申込方法等

下記(1)、(2)の書類を原本はフラットファイル、副本はクリアファイルに1部ずつまとめて提出してください。原本のフラットファイル表紙には 申請者名を記載してください。

・原本: 1部 (片面印刷) ・副本: 5部 (両面印刷)

※原本および副本には、ページ番号を記載してください。

※申請書類の作成にかかる諸費用は申請者の負担とし、提出資料等の返却は致しません。

(1) 申込用紙

「名護市農産物6次産業化支援拠点施設使用許可申請書(インキューベート室用)」を提出ください。

※ 使用許可申請書には以下の書類を添付して下さい。

1) 個人の場合

- ① 住民票 (発行3ヶ月以内のもの)
- ② 市税完納証明書 (発行3ヶ月以内のもの)

2) 法人の場合

- ① 登記事項証明書 (発行3ヶ月以内のもの)
- ② 決算報告書 (過去3年分)
- ③ 法人税、事業税、法人市県民税の完納証明書 (発行3ヶ月以内のもの)
- ④ 定款の写し

3) 個人、法人共通

① 事業計画書

※事業計画書は下記が確認できる内容として下さい。

- a. 担当者名、連先等
- b. 6次産業化への取り組み状況
- c. インキューベートA室 加工品生産計画

※ 使用する加工ラインが分かる内容として下さい。

- d. インキューベートA室 加工品原料調達計画
- e. インキューベートA室に持込予定機器や改造・改装予定がある場合はその実施計画

- ② 資金計画書(様式 1)
- ③ 収支計画等(様式2、3)
- ④ 損益計算書(様式4)
- ⑤ 雇用計画書(様式5)

- ⑥ 個人情報の提供に関する同意書
- ⑦ 会社概要が分かる資料等（起業予定者を除く）
- ⑧ その他指定管理者が必要と認める書類

※ 3) ①～⑥の様式については、なごアグリパークホームページからダウンロード可能です。

(2) その他

名護市内に農地(利用権も可)を所有し、耕作していることが確認できる資料。

(3) 受付窓口・時間

1) 受付窓口

なごアグリパーク管理事務所（沖縄 JTB 株式会社 なごアグリパーク施設担当）

〒905-0012 名護市字名護 4607 番地 1 ☎ 0980-54-8550

2) 受付時間

9 時 30 分～16 時 30 分まで

3) 募集期間

令和 7 年 1 月 24 日(金)～令和 7 年 2 月 14 日(金) 17 時 00 分まで

※郵送の場合は令和 7 年 2 月 14 日(金)の消印まで可

7 審査方法等

沖縄 JTB 株式会社にて名護市農産物6次産業化支援拠点施設インキュベートA室使用者選考審査方法に基づき審査を実施、名護市への報告後、使用者を決定します。

8 日程等

(1) 申込期間:令和 7 年 1 月 24 日(金)～令和 7 年 2 月 14 日(金)

(2) 書類審査(プレゼンテーション):令和 7 年 2 月 15 日(土)～令和 7 年 2 月 21 日(金)

(3) 審査結果報告:令和 7 年 2 月 21 日(金)～令和 7 年 2 月 26 日(水)※名護市へ報告

(4) 使用者の決定・通知:令和 7 年 2 月 27 日(木)～令和 7 年 2 月 28 日(金)

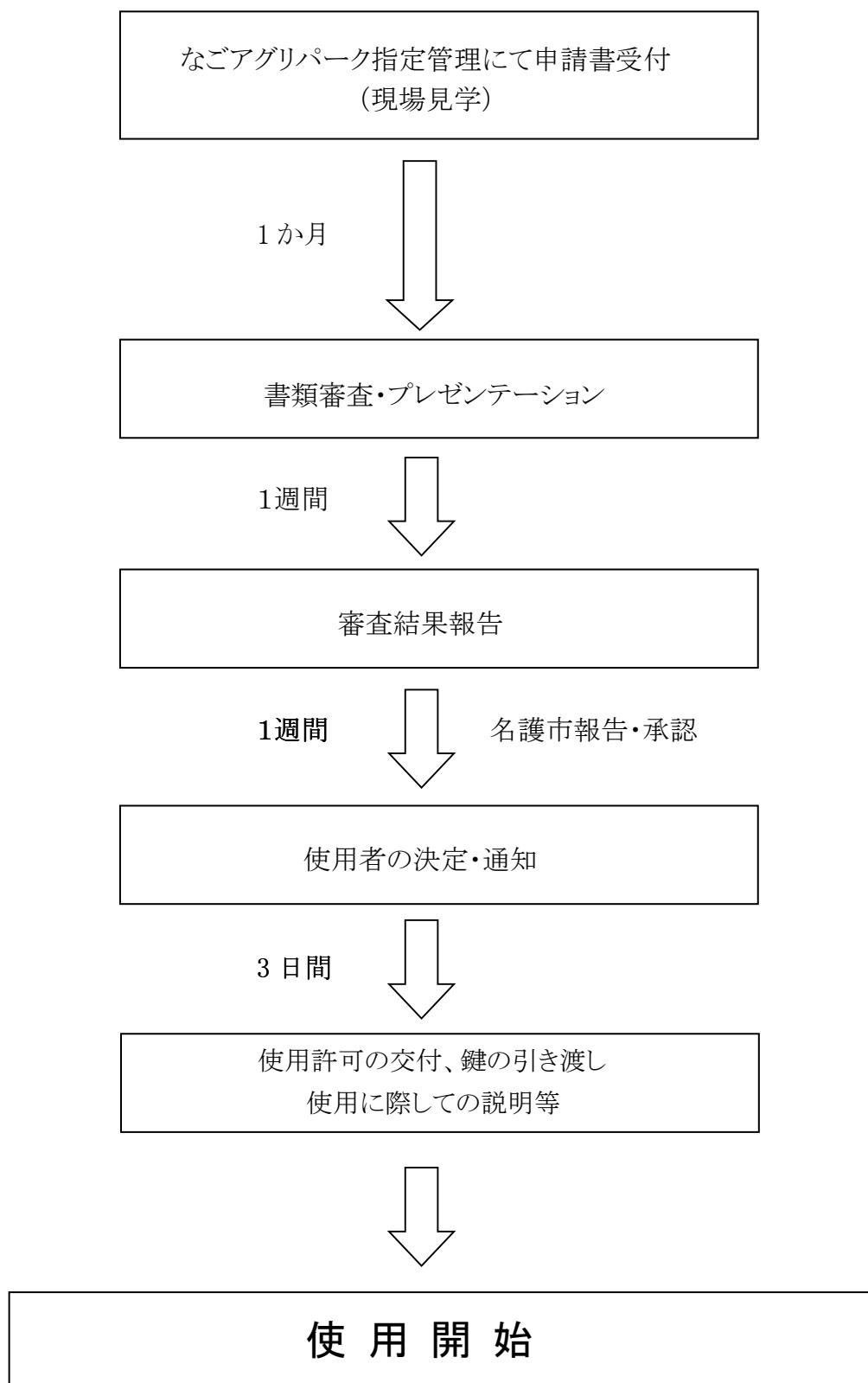
(5) 使用許可書の交付、鍵の引き渡し・使用に際しての説明等:

令和 7 年 3 月 1 日(土)～令和 7 年 3 月 5 日(水)

※3 月の施設使用料については、鍵引き渡し日からの日割り計算とします。

※鍵引き渡し後、保健所の営業許可手続き等は可能となります。

9 使用開始までの流れ

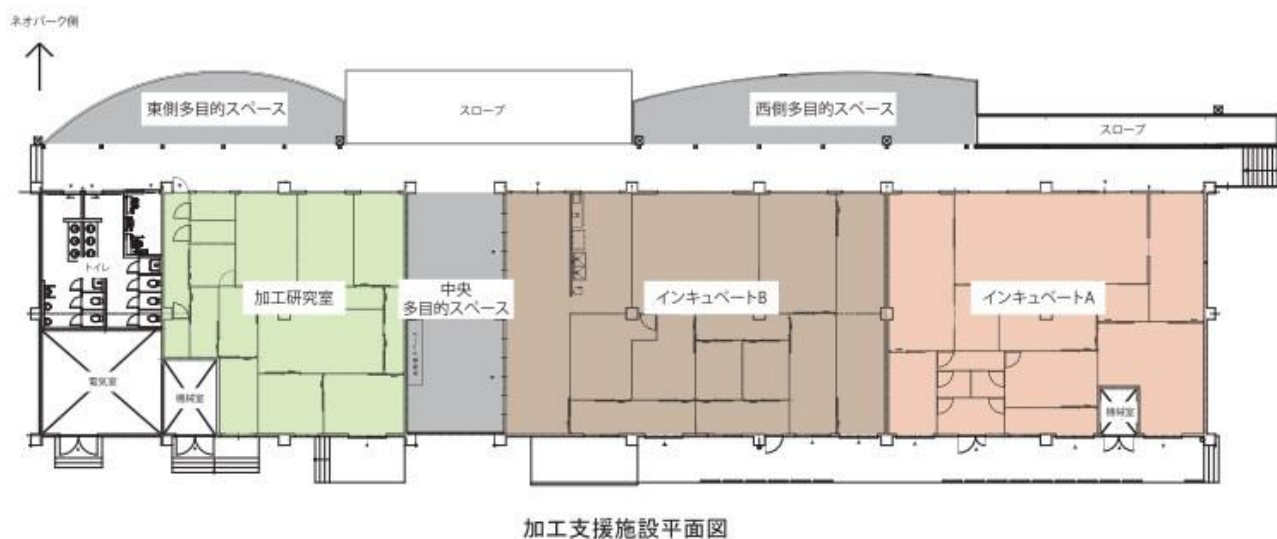


その他

(1)参考資料「なごアグリパーク配置図」

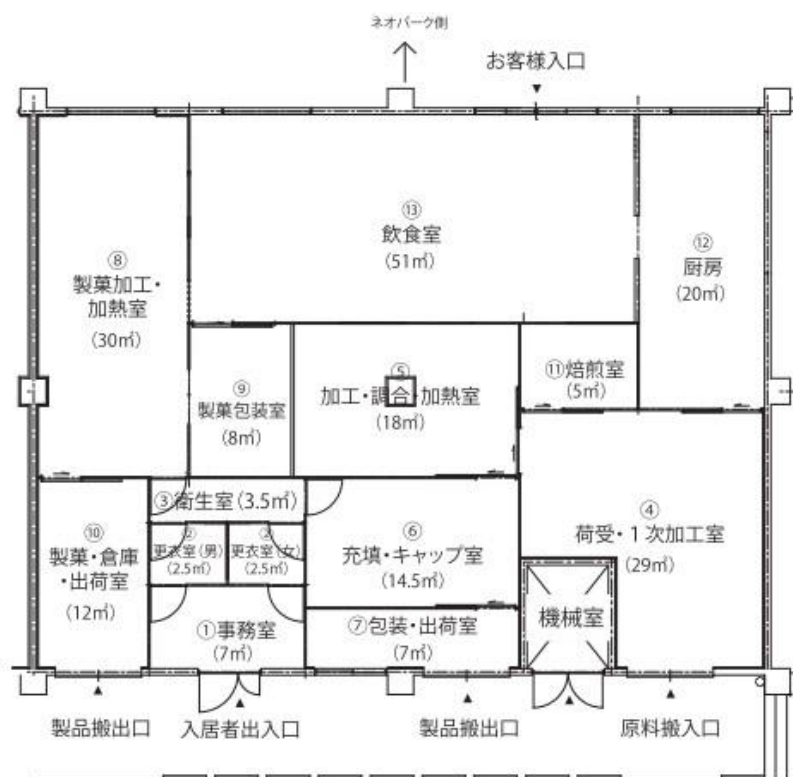


(2) 参考資料「インキュベートA室概要」



インキュベートAの概要

インキュベートA室では、ジャム加工や製菓、パン製造などに使用できる機械が設置されており、また厨房と飲食室もあります。



インキュベートA平面図